

# 89ERS選手が登米市に

## バスケットボール教室／bjリーグ公式戦

男子プロバスケットボールbjリーグ2008〜2009シーズン公式戦、仙台89ERS第3・4戦（対富山グラウジーズ）が10月25、26の両日、登米総合体育館で行われました。

公式戦に先立ち、前日の10月24日には市内外の小中学生約100人を対象に、中田総合体育館でバスケットボール



浜口ヘッドコーチも加わってのバスケット教室



両チームとも、1点を争う白熱したゲームが展開されました

教室を開催。宮城県出身の下光、佐藤真哉、松田大地、志村雄彦選手をはじめ、全選手とコーチ陣が講師を務めました。

参加者は、小学生と中学生がそれぞれ班に分かれ、ポールハンドリングやターン、デイフェンスなどの技術に磨きをかけました。

また、教室終了後には選手

との交流会も行われ、子どもたちはお目当ての選手からサインや握手をしてもらい、貴重な体験となりました。

公式戦は両日とも前売り券が完売し、スタンドは超満員。市内外から訪れたブースター（応援団）がチームカラーの黄色の手ぬぐいやボードなどを持って、選手に大きな声援を送りました。

第3戦は一時は同点に迫りつきましたが、要所で確実にフリースローを決め82対70で勝利。第4戦は連勝を狙い健闘しましたが、73対79で惜しくも敗れました。



ブースターも大熱狂

# 災害に備え大規模訓練

## 自衛隊震災対処訓練 登米市会場



自衛隊から特殊機材の説明を受ける参加者

宮城県沖地震を想定した震災対処訓練が10月31日と11月1日の2日間、宮城県と岩手県の22の市町村で自衛隊員や住民など約1万6000人が参加して実施されました。

市内では、長沼フットピア公園を主会場に、第6師団



ヘリコプターでの住民救助輸送訓練

（山形県東根市）の自衛隊員を中心に市消防本部や市民、延べ1200人が、人命救助や孤立集落からの住民救助輸送、給水訓練などを行いました。

2日間にわたり光ヶ丘球場で行われた住民救助輸送訓練では、避難住民役の市職員や自主防災組織の代表など40人が、自衛隊ヘリコプターでの避難を体験しました。

長沼フットピア公園では1日、自衛隊の炊事車両や入浴施設、音響探査機などの特殊機材の展示、自衛隊員が食べるカレーの試食などが行われました。カレーの試食では配布前から長蛇の列となるなど、会場には多くの人が訪れ、普段見ることのない自衛隊機材に実際に触れたり、隊員から熱心に説明を受けるなど、盛会のうちに終了しました。

# 仙台フィルとの夢の共演

## 第4回 ときめき市民コンサート



岩村さんの熱の入った指導

第4回ときめき市民コンサート（同実行委員会など主催）が11月9日、登米祝祭劇場で開かれました。

ときめき市民コンサートは2005年、登米市誕生を祝

今年度のとめ市民合唱団は登米、栗原、大崎、石巻などの合唱団に所属する85人が集まり、7月から週1回の練習を重ねてきました。

今回は、かねてから団員が要望していた仙台フィルハーモニー管弦楽団との共演が実現し、指揮者に元NHK交響楽団アシスタントコンダクターの岩村力さんを迎え、オーケストラの演奏とともに、モーツァルト「アヴェ・ヴェルム・コルプス」や「もみじ」、「荒城の月」など、素晴らしい演奏とハーモニーが披露されました。



とめ市民合唱団と仙台フィルハーモニーの素晴らしい共演

# 大きな森を育てる小さな一粒

## 市民参加の新たな森林づくり

「市民参加の新たな森林づくり」（県、市、米川生産森林組合共催）が11月10日、東和町米川字西綱木地区の山林で行われました。

これは、自然の形に近い森林づくりを目指して毎年開催されており、今年4月に行われた津山地区の植樹に引き続いて開催されました。作業には米川小の全児童や関係者、約150人が参加し、ヤマザクラ20本の植樹とミズナラ約5000個の種をまきました。開会式では布施市長が「森



市長とともにミズナラの種をまきました



仲良く種を植える千葉さん（左）と菅原さん（右）



外で食べるきのこ汁は、格別の味でした

林は空気や水の浄化のほかに、山の幸など多くの恵みをわたしたちに与えてくれます。今日まく小さな種は、何十年もかけて大きくなります。将来、皆さんが大人になったときには、ぜひもう一度、みんなで植えた木を見にきてほしいと思います」と話しました。参加した児童たちは、県登米地域事務所の職員からまき方の説明を受けた後、上級生と下級生がペアを組み、作業に取り組みました。

6年の菅原莉奈恵さんは

「今日植えた種が成長し、動物などが集まる大きな森になってほしいと思います」。また、1年の千葉優真さんは「木が大きく育ったら、みんなでドングリを拾いにきたいです」と話していました。米川小児童は作業終了後、小学校で津山木工芸品事業協同組合の西條理事長に指導いただき、オリジナルのはし作りなどを体験しました。昼食には山の恵みのきのこ汁が振る舞われ、大いに自然を満喫した一日となりました。